

第4回富良野市文化芸術振興条例検討委員会 顛末

と き：令和4年1月25日（水）13：30～16：00

ところ：富良野市立図書館 3階会議室

出席：関委員長、篠田副委員長、藤田、太田、原田、吉田（リモート）、岡本（リモート）

欠席：桑原、中村、石平

（敬称略）

1. 答申までのスケジュールについて

これまでの議論を踏まえ、答申までのスケジュールを再確認したところ、下記の意見が出された結果期間を延長し令和4年10月答申を目指すこととなった。

【主な意見】

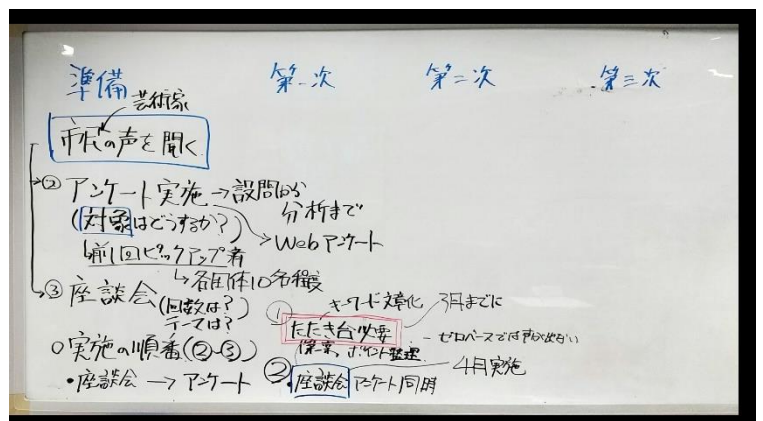
- ・予定通り年度内答申を目指すべき。
- ・天候等の条件により、委員会の開催が難しい場合もあり年度内の答申は難しい。3段階程度に分けて条例案を作成し、その都度市民から意見を求めてはどうか。
- ・検討期間の延長が可能ならば、後世に残るものなので期間を延長しもう少し丁寧に議論したい。
- ・条例は作る過程で、いかに市民の意見を丁寧に聞けるかが大切。たたき台を提示して市民意見をもらいたい。
- ・3月に答申ではなく、第一案を作成するということでどうだろうか。
- ・3月までにたたき台を作るということであれば、数名でワーキンググループをつくりそこで議論するという方法もある。
- ・やらなければならないことを洗い出し、答申予定月から逆算してスケジュールを立てる。

2. 市民意見の収集方法について

提示するたたき台を用意したうえで座談会を行い、市民の意見をいただきながらアンケートも行うこととした。

【主な意見】

- ・総合計画作成時のアンケートを参考にできないか
- ・パブコメではなかなか意見は出ないので、こちらから出向いて意見収集できないか。
- ・アンケートは書くのが大変。コロナで難しいかもしれないが、座談会で話を聞いてはどうか。
- ・市民や文化活動を行っている人から意見を集め、現状を把握し条例の第一案を作成する。
- ・アンケート、座談会両方を実施する。
- ・設問の設定、分析まで委員で行う。
- ・webでアンケートを行ってはどうか。対応困難な方にはFAX等を活用し、できるだけ入力する手間を省く。
- ・座談会を行いながら、アンケートの存在をお知らせする。
- ・対象は無作為ではなく、委員の人脈を使うことで回答率が上がる。
- ・座談会を開いた場合に何を話せばいいのか…。ゼロベースでは声は出てこない。やはり、たたき台が必要。
- ・委員会としての考えを見てもらうため、条例の第一案をつくる必要がある。
- ・たたき台のためにも、前回出たキーワードを文章化する必要がある。

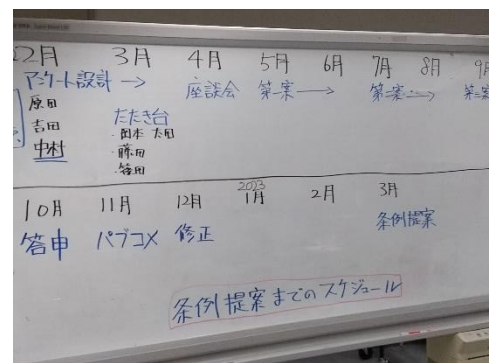


3. 最終スケジュール

令和5年3月に条例提案というイメージで逆算してスケジュールを立てた。

【条例提案までのスケジュール】

令和4年2月～3月	アンケート設計、たたき台作成
4月	座談会・アンケート実施
5月～6月	条例案第一稿作成、フィードバック
7月～8月	条例案第二稿作成、フィードバック
9月	条例案最終版作成
10月	答申
11月	パブリックコメント
12月	条例案修正（必要あれば）



4. ワーキンググループの設置

アンケート設計・実施と条例案のたたき台作成を効率的に行うため、アンケート設計グループとたたき台作成グループに分かれて、それぞれ作業を進めることとした。対面での打ち合わせではなく、ZOOM を使ったのオンライン打ち合わせを予定。

■アンケート設計 原田・吉田

■たたき台作成 岡本・藤田・篠田・太田

※本日欠席の委員については、事務局から確認する。

